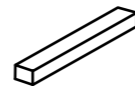


接続・取り付け部品を確認する

ナビゲーション本体関連

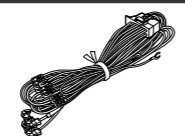


ナビゲーション本体× 1

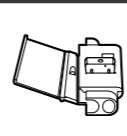
トラスネジ
(5 mm × 8 mm) × 8皿ネジ
(5 mm × 9 mm) × 8

スペーサー× 1

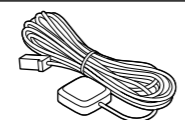
接続ケーブル関係



電源コード× 1

U エlement
コネクター× 1RCA 入出カケーブル
× 1

GPS アンテナ関係



GPS アンテナ× 1



金属シート× 1

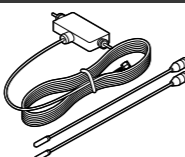


クランプ× 3



両面テープ× 1

TV 用アンテナ関係



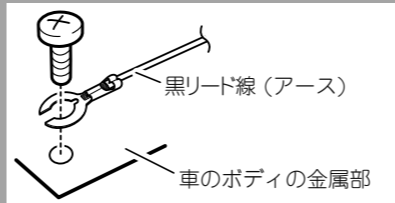
ロッドアンテナ× 1

接続の前に知ってほしいこと

—必ず車のバッテリーの⊖端子を外してから接続してください—

接続上のご注意

- 本機の黒リード線（アース）を必ず最初に車のボディの金属部に確実に接続してください。



- 本機は、エンジンスイッチに ACC ポジションがない車では使用できません。必ず、エンジンスイッチに ACC がある車でご使用ください。

- 赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗します。

- 若草色リード線（パーキングブレーキスイッチ）は、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に接続してください。接続しないと一部の機能が使用できなくなります。

- 黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となる恐れがあります。

- 必ず付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると故障する恐れがあります。

- スピーカーのリード線をアースに接続したり、複数のスピーカーの（-）リード線を、共通にして接続しないでください。

- 本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力 50 W 以上のハイパワー用で、インピーダンスが 4 Ω から 8 Ω のものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーやアンプの発火・発煙・破損の原因となります。

- ガラスアンテナ車など、アンテナプースターの電源がある場合、必ず本機の青 / 白リード線（アンテナコントロール）を車側のアンテナプースターの電源に接続してください。接続を忘れるとラジオ放送の受信ができません。

アンテナプースターの電源の位置は、車種によって異なります。詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

接続のポイント

ノイズ防止のために

- ノイズ防止のため、次のものはナビゲーション本体や他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置してください。

- * TV 用アンテナおよびそのアンテナコード
 - * FM/AM アンテナおよびそのアンテナコード
 - * GPS アンテナおよびそのアンテナコード
- それぞれのアンテナコードどうしもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感度が悪くなります。

電源配線キットを別売しています

- システム全体の消費電流が大きくなると、電圧が不足する場合があります。そのようなときは、バッテリーから直接電源をお取りください。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

ピンクリード線の接続について

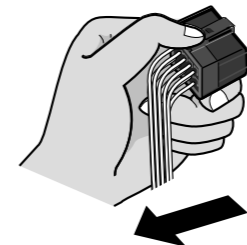
- ピンクリード線（車速信号入力）は、内蔵の 3D ハイブリッドセンサー用のリード線です。必ず接続してください。
- ピンクリード線を接続しない場合は、簡易ハイブリッド方式で動作し、測位誤差が大きくなる場合があります。

- ピンクリード線を車の車速検出回路に接続するのが困難な場合は、車速パルス発生機「ND-PG1」（別売）をご使用ください。

コネクターの脱着のしかた

- コネクターは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。スムーズに入らない場合は、色が間違っている可能性がありますので、コネクターどうしの色を確認してください。また、無理に挿入しないでください。故障の原因となる場合があります。

- コネクターを外すときは、図のようにコネクター部分を持ってロックを押しながら引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



例：電源コネクターの場合

<下記窓口へのお問い合わせ時のご注意>
「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・PHS 一部の IP 電話などからは、ご使用になれません。
携帯電話・PHS からは、ナビダイヤル、または IP 電話をご利用下さい。（通話料がかかります）
正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただく場合がございますので発信番号の通知にご協力いただけますようお願いいたします。

カスタマーサポートセンター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話 《カーオーディオ／カーナビゲーション商品》

【固定電話から】 **0120-944-111** (無料)

【携帯電話・PHS から】 **0570-037-600** (ナビダイヤル・有料)

上記の電話番号がご利用いただけない場合

050-3820-7540 (IP 電話・有料)

■ファックス **0570-037-602** (ナビダイヤル・有料)

■インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

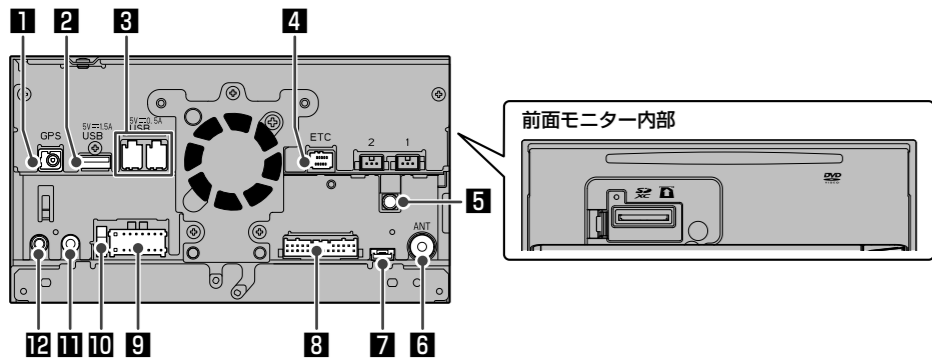
*商品についてよくあるお問い合わせ・お客様登録など

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.04

接続端子の名称と働き

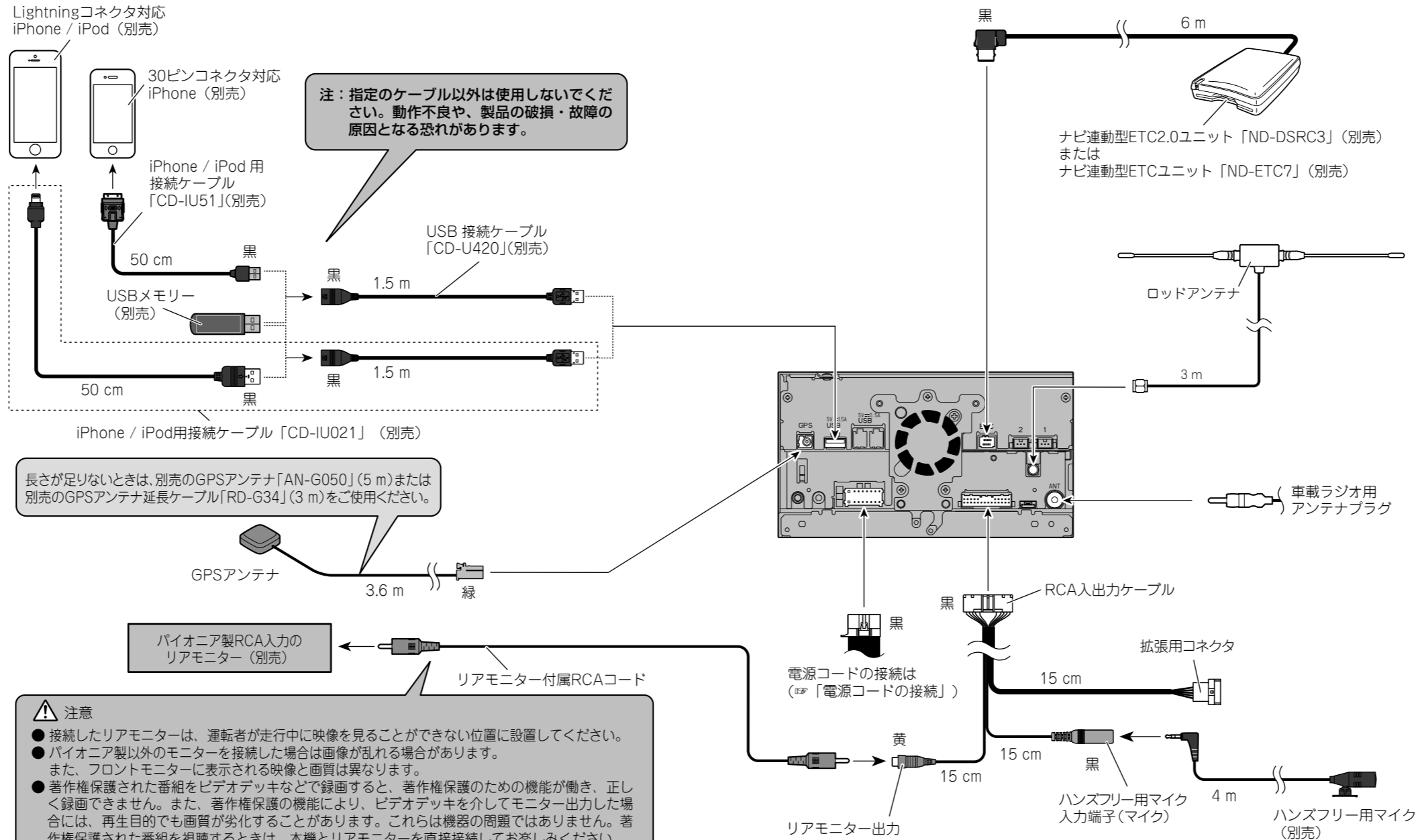
必ず車のバッテリーの⊖端子を外してから接続してください



- GPS アンテナ接続端子 (緑)**
付属の GPS アンテナを接続します。
(※「システムの接続 1」)
- USB 接続端子 (Type A) (黒)**
別売のケーブルを使用して iPhone / iPod や USB メモリーを接続できます。
(※「システムの接続 1」)
- USB ケーブル接続端子 (茶)**
別売、または接続機器に同梱の USB 接続ケーブルが接続できます。
(※「システムの接続 2」)
- 拡張入出力端子 (黒)**
別売の ETC2.0 ユニットまたは ETC ユニットが接続できます。
(※「システムの接続 1」)
- TV アンテナ接続端子**
付属の TV アンテナを接続します。
(※「システムの接続 1」)
- AM/FM/FM VICS 用アンテナ入力端子**
車載のラジオ用アンテナを接続します。
(※「システムの接続 1」)
- バックカメラ接続端子 (白)**
別売のバックカメラユニットが接続できます。また、別売の純正バックカメラコネクタ変換ケーブルを使って、一部の純正バックカメラを接続することもできます。
(※「カメラユニットの接続」)
- 映像・音声入出力端子 (黒)**
付属の RCA 入出力ケーブルを接続します。
(※「システムの接続 1」)
- 電源端子 (黒)**
付属の電源コードを接続します。
(※「電源コードの接続 1」「電源コードの接続 2」)
- ヒューズ (10 A)**
注：ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。
- AUX 入力端子 (黒)**
別売のドライブレコーダーユニット「ND-DVR1」やビデオプレーヤーなどの外部映像機器が接続できます。
(※「システムの接続 2」)
- ステアリングリモコンアダプター / ステアリングリモコンケーブル接続端子 (黒)**
別売のステアリングリモコンアダプターまたは、別売のステアリングリモコンケーブルが接続できます。
(※「システムの接続 2」)

システムの接続 1

必ず車のバッテリーの⊖端子を外してから接続してください

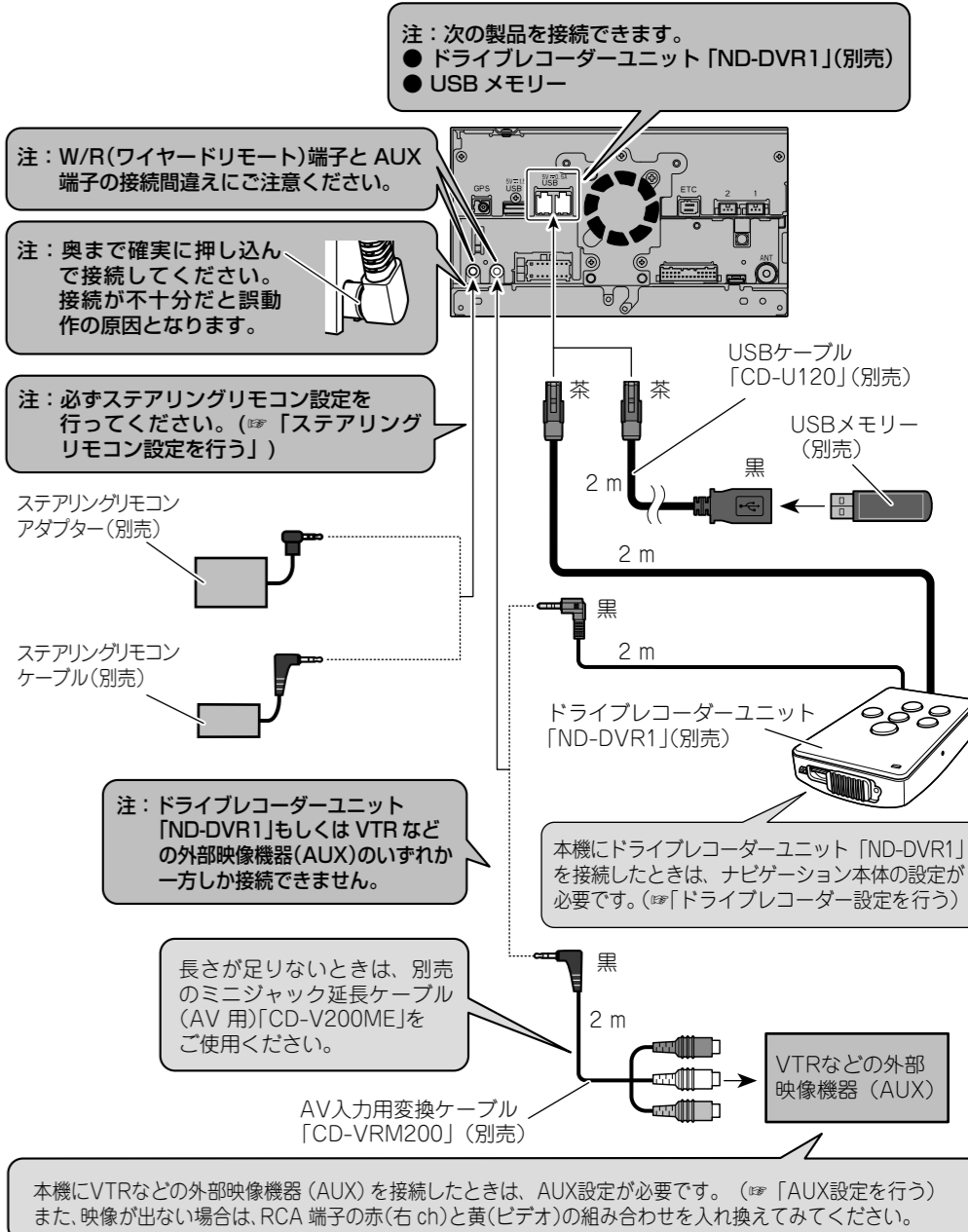


注意

- 接続したリアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない位置に設置してください。
- パイオニア製のモニターを接続した場合は画像が乱れる場合があります。また、フロントモニターに表示される映像と画質は異なります。
- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画すると、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、著作権保護の機能により、ビデオデッキを介してモニター出力した場合には、再生目的でも画質が劣化することがあります。これらは機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴するときは、本機とリアモニターを直接接続してお楽しみください。

システムの接続 2

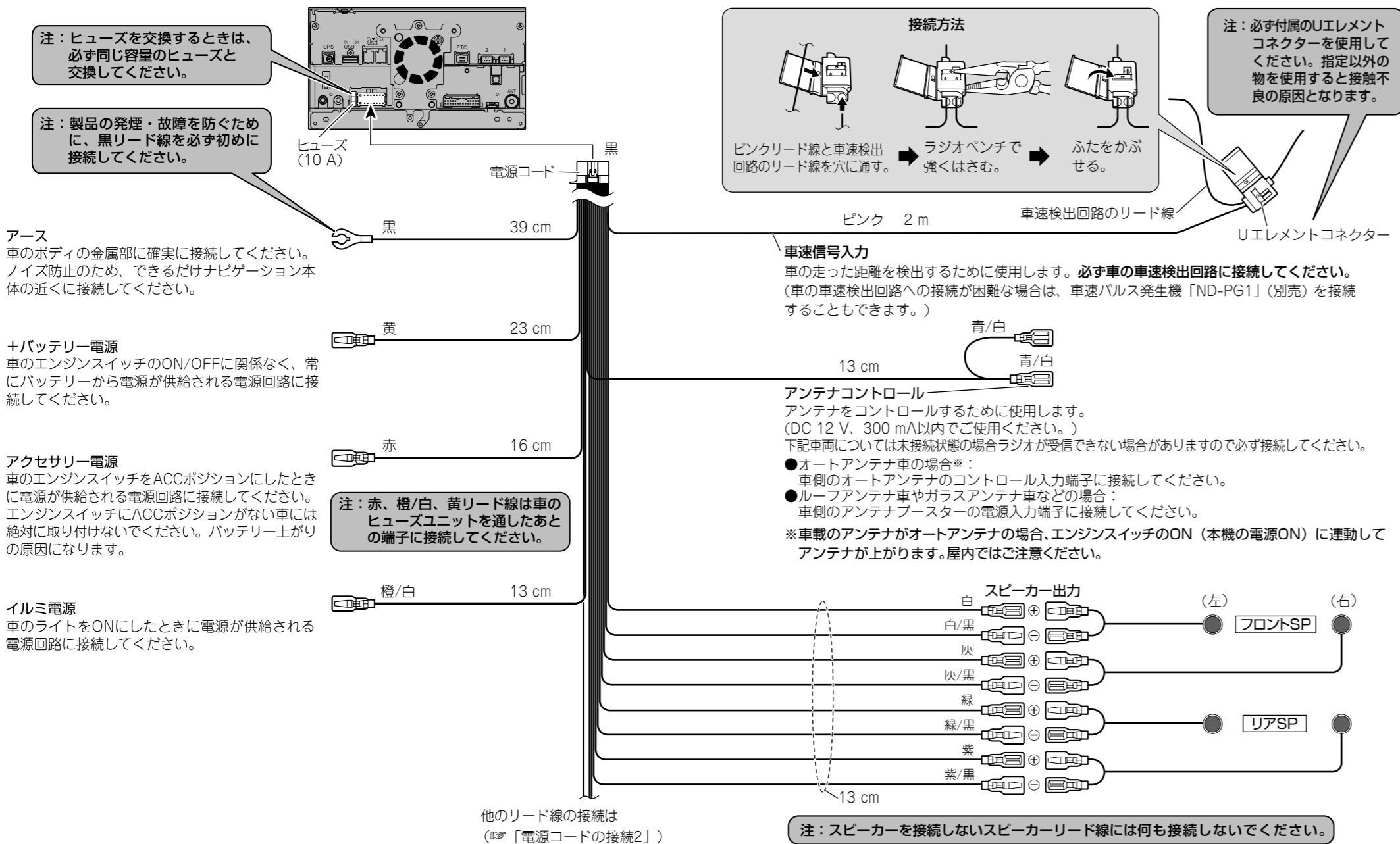
必ず車のバッテリーの⊖端子を外してから接続してください



- 注：次の製品を接続できます。
- ドライブレコーダーユニット「ND-DVR1」(別売)
 - USB メモリー
- 注：W/R(ワイヤードリモート)端子と AUX 端子の接続間違えにご注意ください。
- 注：奥まで確実に押し込んで接続してください。接続が不十分だと誤動作の原因となります。
- 注：必ずステアリングリモコン設定を行ってください。(※「ステアリングリモコン設定を行う」)
- 注：ドライブレコーダーユニット「ND-DVR1」もしくは VTR などの外部映像機器(AUX)のいずれか一方しか接続できません。
- 注：長さ足りないときは、別売のミニジャック延長ケーブル(AV 用)「CD-V200ME」をご使用ください。
- 本機にドライブレコーダーユニット「ND-DVR1」を接続したときは、ナビゲーション本体の設定が必要です。(※「ドライブレコーダー設定を行う」)
- 本機に VTR などの外部映像機器 (AUX) を接続したときは、AUX 設定が必要です。(※「AUX 設定を行う」) また、映像が出ない場合は、RCA 端子の赤(右 ch)と黄(ビデオ)の組み合わせを入れ換えてみてください。

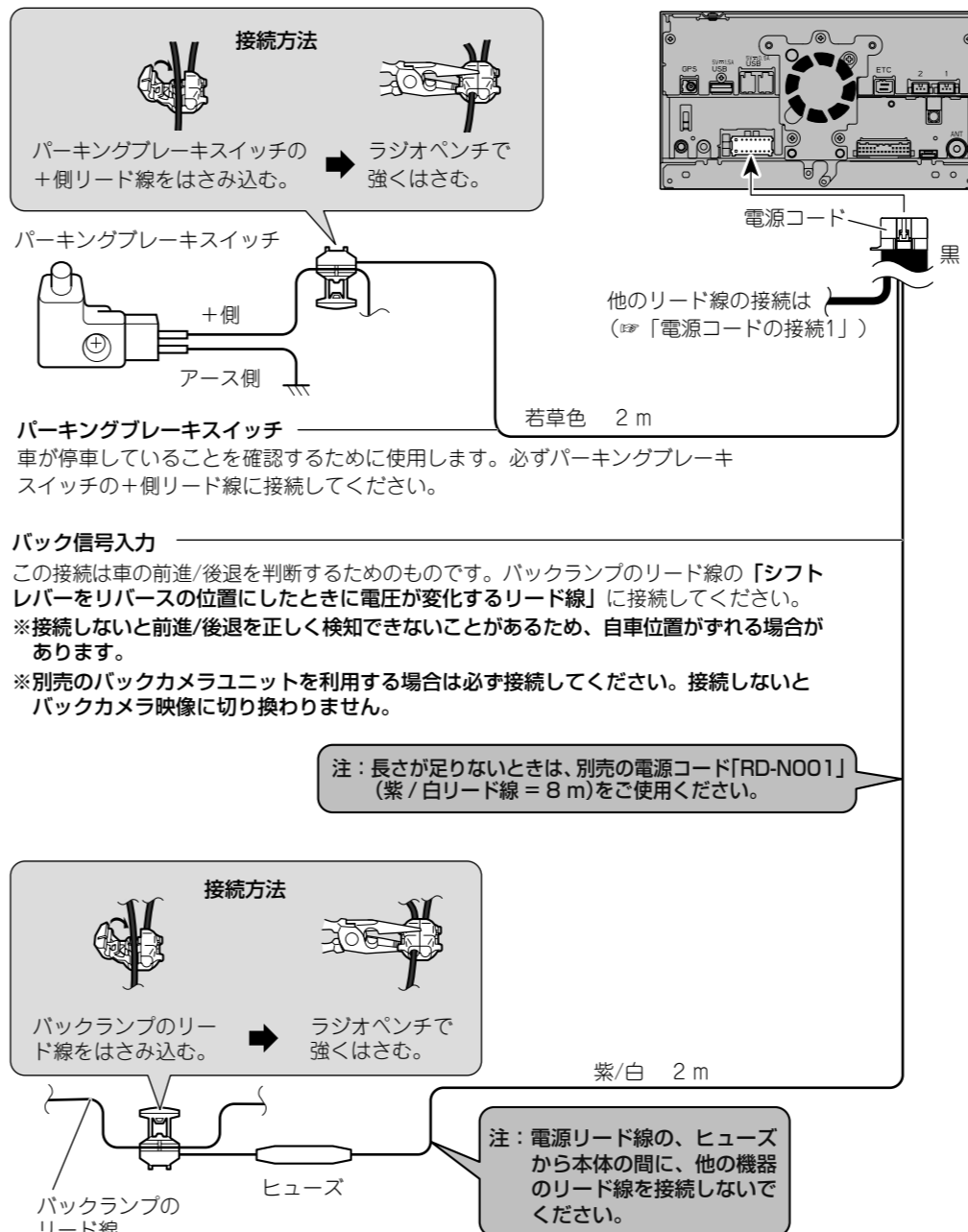
電源コードの接続 1

必ず車のバッテリーの⊖端子を外してから接続してください



電源コードの接続 2

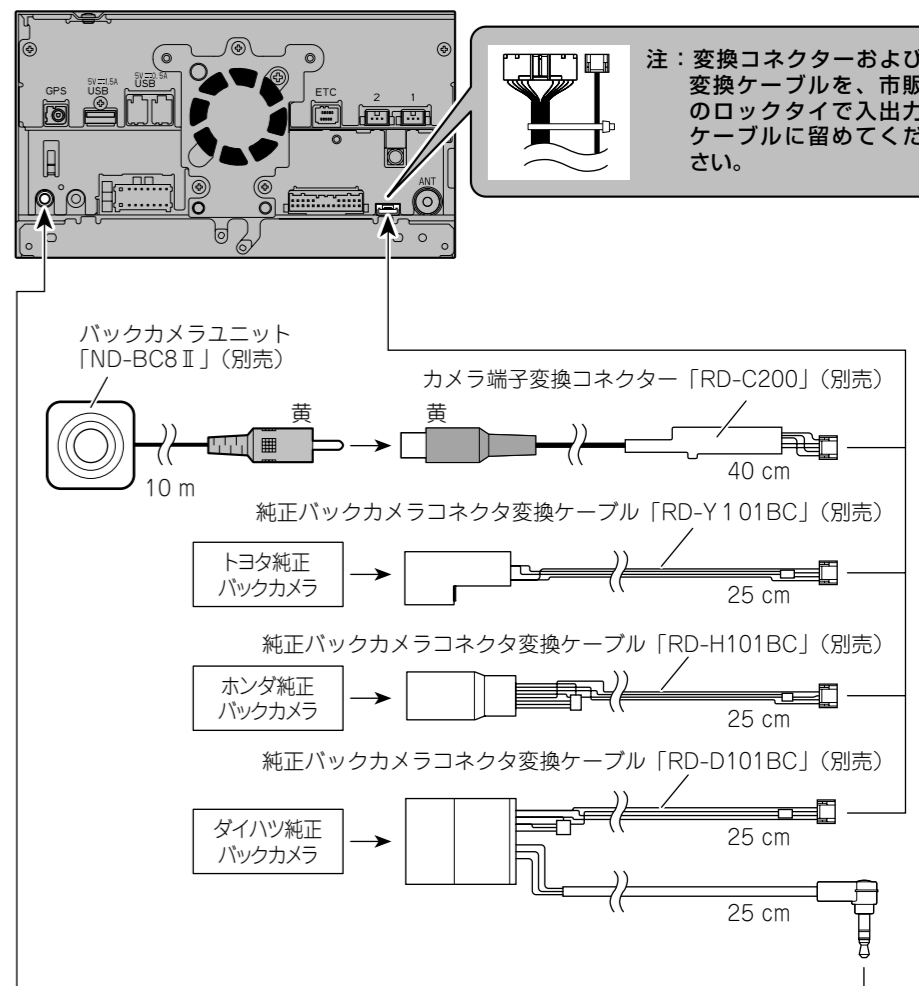
必ず車のバッテリーの⊖端子を外してから接続してください



カメラユニットの接続

必ず車のバッテリーの⊖端子を外してから接続してください

本機には、カメラ端子変換コネクター「RD-C200」(別売)を使ってバックカメラユニット「ND-BC8 II」(別売)を接続できます。
 また、一部の純正バックカメラも別売の変換ケーブルを使って接続できます。

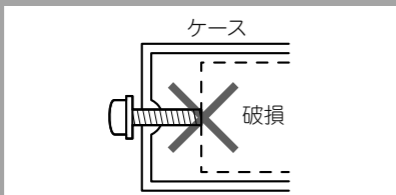


- メモ**
- バック信号入力線の接続が必要です。(※「電源コードの接続2」)
 - バックカメラの映像を本機に表示するには、バックカメラ設定が必要です。(※「バックカメラ設定を行う」)

取り付けの前に知ってほしいこと

取り付け上のご注意

- 必ず本機に付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。



取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認します。このときアンテナ類などは、受信状態のよい位置を確かめてから取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

粘着テープを貼り付ける前に

- 面ファスナーや両面テープを貼り付けるところは、汚れをよくふきとってください。

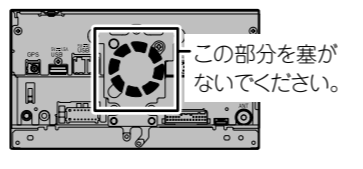
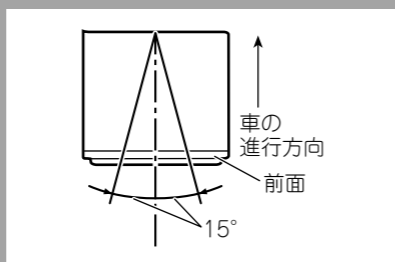
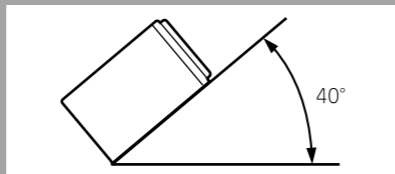
ノイズ防止のために

- TV用アンテナの取り付けのしかたによっては、ラジオ放送に雑音が入る場合があります。TV用アンテナは、TV用アンテナの取り付け(※「TV用アンテナの取り付け」)の説明に従って正しく取り付けてください。
- ノイズ防止のため、次のものはナビゲーション本体や他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置してください。
 - * TV用アンテナおよびそのアンテナコード
 - * FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード
 - * GPSアンテナおよびそのアンテナコードそれぞれのアンテナコードどうしもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感度が悪くなります。

ナビゲーション本体の取り付け

取り付け上のご注意

- 本機の性能を十分に発揮するために、できるだけ水平に取り付けてください。また、取り付ける車両の特性上、取り付け角度が傾いてしまう場合は、水平に対して上の傾き40度以内の角度で取り付けてください。左右の傾きは車の進行方向に対してナビゲーション本体の前面が15度以内の角度で取り付けてください。
- 必ず本機に付属のネジを使用して、指定どおりに取り付けてください。付属のネジよりも長いネジを使用すると、本機内部の部品をいためることがあります。
- 放熱を妨げないために、下図の部分を塞がないように配置してください。



取り付けのポイント

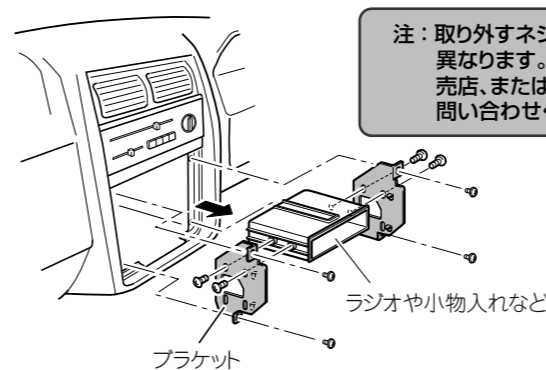
取付キットを別売しています

- 日産車に取り付ける場合は、車種や年式によって別売の日産車用取付化粧パネル「ADT-N979Ⅱ」が必要になることがありますので、販売店にご相談ください。
 - ※本機に「ADT-N979Ⅱ」を使用する場合は、上部にすきまができるようにパネルを上方向に寄せ取り付けてください。パネルを固定する際は、左右のみテープ留めを行い、上下にはテープを貼らないでください。

- 車種や年式によっては、別売のバイオニア製取付キットを使用しないと、取り付けられないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意しておりますので、販売店にご相談ください。

1 車両のラジオ、小物入れなどを取り外す

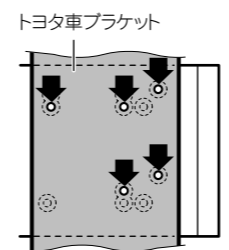
ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを留めているブラケットを取り外します。そのブラケットを使用して、本機を取り付けます。



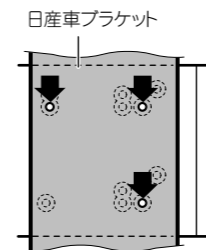
2 ネジ留めする位置を確認する

ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。次のネジ穴のうち4カ所または3カ所合う位置があります。

トヨタ車の場合

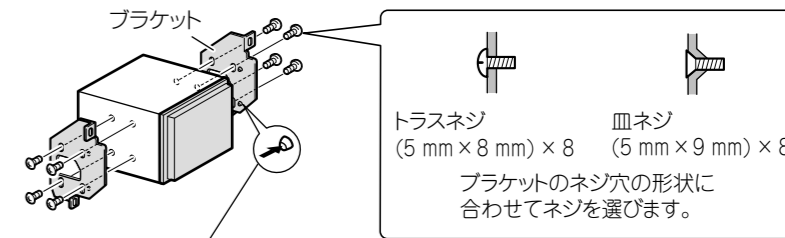


日産車の場合



3 ブラケットを付属のネジで取り付ける

左側、右側、それぞれ4カ所または3カ所ずつ、付属のネジでネジ留めして、元どおり車に取り付けます。

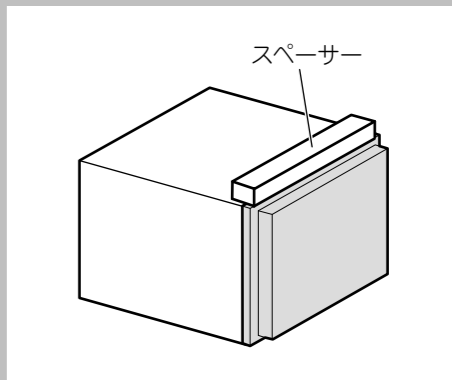


車両側のブラケットの凸部やツメが邪魔になり、浮いてしまう場合は、それらをハンマーなどでつぶす必要があります。
*作業の際には安全に十分ご注意ください。

注：付属のネジ以外は使用しないでください。付属のネジよりも長いネジを使用すると、本機内部の部品をいためることがあります。

ナビゲーション本体取り付け後のご注意

ナビゲーション本体を取り付けたあと、車両との間にすきまがある場合は、ナビゲーション本体にスペーサーを貼ってすきまをふさいでください。なお、スペーサーを貼る手順は、車両によって異なります。



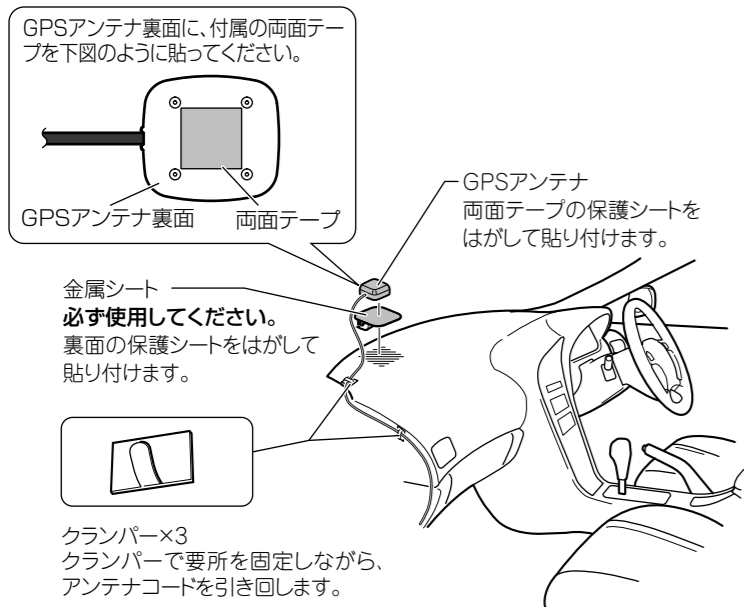
GPS アンテナの取り付け

取り付け上のご注意

- 付属の GPS アンテナは車室内取付専用です。電波を通さないガラスを使用した車種の場合は、別売の GPS アンテナ（車室外取付用）「AN-G050」（5 m）をご使用ください。
- GPSアンテナは、ワイパーやピラーなどで遮られない場所に水平に取り付けてください。
- GPS アンテナは、グローブボックス内などには設置しないでください。
- GPS アンテナを塗装しないでください。アンテナの性能が落ちる場合があります。
- GPS アンテナの取り付けには、必ず付属の金属シートを使用してください。使用しないと、十分な受信感度が得られなくなります。
- 付属の金属シートは、切って小さくしないでください。十分な受信感度が得られなくなります。
- GPS アンテナは、ナビゲーション本体から 30 cm 以上離して設置してください。また、余った GPS アンテナコードをまとめて置くときも、ナビゲーション本体から 30 cm 以上離して置いてください。近くに設置すると、受信感度が低下する場合があります。
- GPS アンテナを取り外すときは、アンテナコードを引っ張らないでください。コードが抜けてしまうことがあります。

取付例（ダッシュボード上）

車室内のなるべく水平な場所でアンテナがウィンドウの外に向く場所に金属シートを貼り付け、GPS アンテナを金属シートの上に貼り付けます。アンテナの取り付け位置は「接続状態画面」（☞「接続状態とGPSの受信状態を確認する」）を参考に、十分に受信できる位置に取り付けてください。



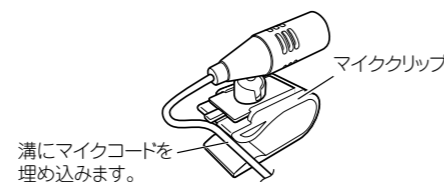
ハンズフリー用マイク（別売）の取り付け

取り付け上のご注意

- ハンズフリー時に明瞭な音質を得るために、マイクはできるだけドライバーの近くに取り付けてください。また、エコー（反響音）を軽減するため、なるべく車のスピーカーから離れた位置に設置してください。
- マイクコードの配線の引き回しによっては、長さが足りずサンバイザーへの取り付けができない場合があります。その場合は、配線の引き回し位置を変えて取り付けてください。

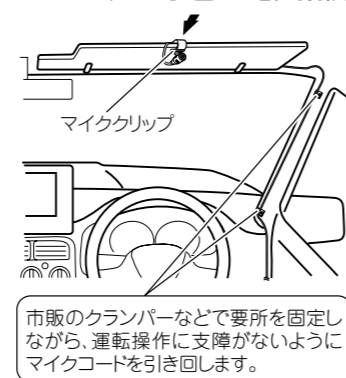
サンバイザーに挟んで取り付ける場合

1 マイククリップの溝にマイクコードを埋め込む



2 サンバイザーにマイククリップを挟み込み、マイクを取り付ける

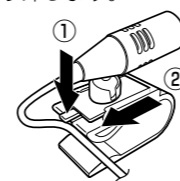
サンバイザーを上げた状態で取り付けます。サンバイザーを下げると、正しく音声認識されません。



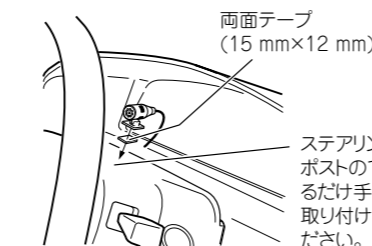
ステアリングポストに取り付ける場合

1 マイククリップを取り外す

ステアリングポストに取り付ける場合は、マイククリップを取り外します。



2 ステアリングポストにマイクを取り付ける



マイク角度の調節のしかた

マイクの角度は、マイク本体の可動部を矢印の方向に動かして調節します。



TV 用アンテナの取り付け

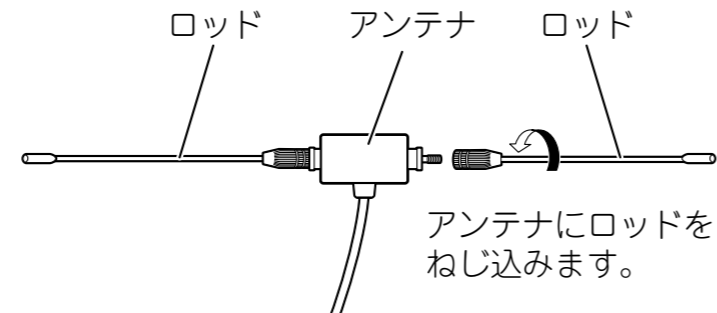
取り付け上のご注意

- 本アンテナは車室内専用アンテナです。車室外には設置しないでください。
- 保安基準* に適合させるため、本書をよくお読みになり、正しく貼り付けてください。
*保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条及び細目を定める告示第195条をいいます。
- ロッドアンテナは、フロントウィンドウ貼り付け専用です。フロントウィンドウ以外には取り付けしないでください。
- 熱線やプリントアンテナ上には貼り付けしないでください。ショートや発熱、性能劣化の原因になります。
- 本書では、ロッドアンテナをフロントウィンドウに取り付けるよう説明していますが、ピラーにフロントエアバッグを搭載している車両の場合は、絶対にピラーを取り外さないでください。フロントエアバッグの誤動作などの原因となり大変危険です。ピラーを取り外さずにロッドアンテナを取り付ける方法について、詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 必ずフロントウィンドウの指定の位置・寸法内に貼り付けてください。

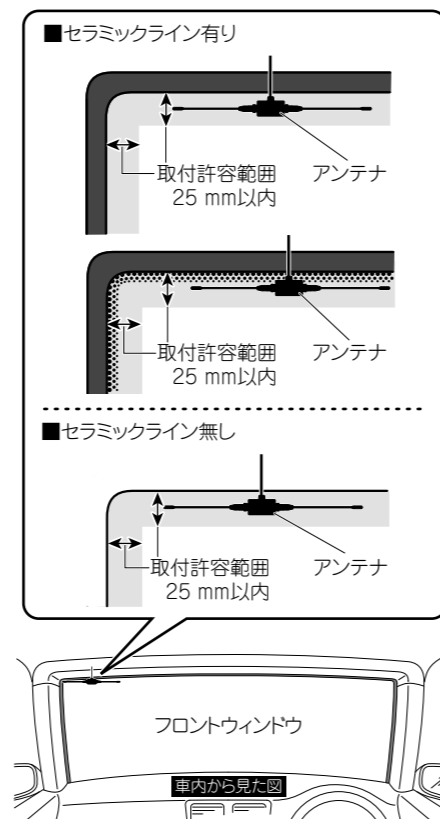
- 車室内に取り付けるアンテナは、エアコン用モーターなどから出るノイズにより、テレビの映りが悪くなるがありますが、故障ではありません。
- 車種によって、取り付けられない場合があります。販売店に相談してください。
- 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど、電波を通さないガラスを使用した車種の場合には、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店に確認してください。
- 作業場所は、風が無く、空気中にゴミ、ホコリなどが無い場所を選んでください。
- 気温が低いときやガラスがくもってしまう場合は、接着力の低下を防ぐため、車内ヒーターやデフロスタースイッチを ON にしてウィンドウを暖めておいてください。
- 他のアンテナから 10 cm 以上離して取り付けてください。
- 指定の位置や寸法内に取り付けられないことがあります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- アンテナの余りをまとめるときは十分な曲げ角度(半径 15 mm 以上)を確保してください。

他のアンテナとの干渉を考慮して取り付け位置を決めてください。

ロッドアンテナの組み立て



取付許容範囲



アンテナを取り付ける

1 設置位置を確認する

2 ダッシュボードの汚れ、油などを取り除く

ロッドアンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを市販のクリーナークロスで取り除いてください。

3 取り付ける位置を決め、ロッドアンテナを仮置きし、ケーブルを引き回す

「取付許容範囲」を参照して、ロッドアンテナからナビゲーション本体までケーブルを引き回せることを確認します。

4 ロッドアンテナ裏のシートをはがし、ロッドアンテナをフロントウィンドウに貼り付ける

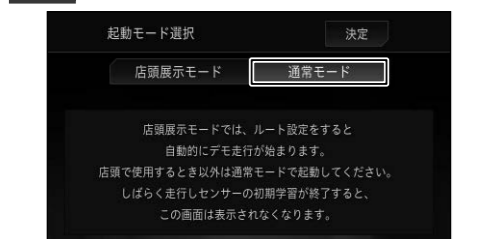
接続・取り付けが終わったら

接続と取り付けが完了したら、確認および初期設定を行います。

接続状態と GPS の受信状態を確認する

接続状態と GPS の受信状態の確認を行います。

1 次の画面が表示されたら **通常モード** - 決定 にタッチする



ご注意

- **店頭展示モード** を選択しないでください。**店頭展示モード** を選択してしまった場合は、エンジンをかけ直してください。

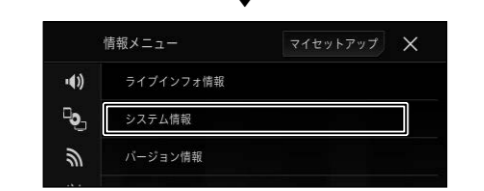
2 次の画面が表示されたら **あとで設定する** にタッチする



3 田を押して HOME 画面を表示する



4 AV・本体設定 - ① - システム情報 - 接続状態の順にタッチする



5 接続状態を確認する (※次ページ)



6 接続状態を確認したら、田にタッチする

接続状態画面の見かた

GPS アンテナ：
GPS アンテナの接続状態と受信状態を確認できます。正しく接続されていれば [OK]、未接続の場合には [未接続] が表示されます。その右側に表示されるアンテナマークで GPS アンテナの受信状態を確認できます。電波の受信しやすい見晴らしの良い場所で2本以上バーが表示されていれば良好です。

測位状態：
現在の測位状態 (3次元測位 / 2次元測位 / 未測位) が表示されます。その右側には測位に使われている衛星 (橙色) と受信中の衛星 (黄色) の数が表示されます。3つ以上の衛星の電波を受信すると現在の測位が可能になります。

取付位置：
ナビゲーション本体の取り付け状態を確認できます。必ずエンジンをかけた状態で停車して確認してください。停車時に [振動検知] が表示された場合は、車の振動の影響により測位の精度が悪くなる場合があります。また走行後に [取付角度許容範囲外] が表示された場合は、ナビゲーション本体の取付角度が許容範囲外です。販売店にご相談ください。

車速パルス：
車速信号入力 (ピンクリード線) の接続状態を確認できます。正しく接続されていれば、車を走行させると "ピッ" と発音音がして、数字とバーが表示されます。数字とバーは本機が測定したパルス数をあらわしています。"ピッ" 音とパルス数は速度によって変化します。車速パルスの確認は、低速 (時速 5 km/h 程度) で行ってください。

イルミネーション：
イルミ電源 (橙 / 白リード線) の接続状態を確認できます。車のライトを点灯させてください。ライトを点灯すると [ON]、消すと [OFF] が表示されます。

バック信号：
バック信号入力 (紫 / 白リード線) の接続状態を確認できます。パーキングブレーキをかけブレーキペダルを踏んでから、シフトレバーを R (リバース) の位置から R (リバース) 以外の位置にすると LOW から HIGH、または HIGH から LOW に切り換わります。

パーキングブレーキ：
パーキングブレーキスイッチ (若草色リード線) の接続状態を確認できます。ブレーキペダルを踏んで、パーキングブレーキをかけ直してください。パーキングブレーキを解除すると [OFF]、かけ直すと [ON] が表示されます。

ETC/ETC2.0 ユニット：
ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニットの接続状態を確認できます。必ずセットアップしてから確認してください。正しく接続されていれば [OK]、未接続の場合には [未接続]、エラーがある場合はエラー番号が表示されます。

車載器管理番号：
現在接続中の ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニットの車載器管理番号が表示されます。ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニットが正しく接続されていない場合は表示されません。

カード有効期限：
現在接続中の ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニットに挿入したカードの有効期限が表示されます。ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニットが正しく接続されていない場合や、機種によっては表示されません。

ドライブレコーダー：
ドライブレコーダーの接続状態を確認できます。正しく接続されていて動作可能な場合は [OK]、未接続の場合は [未接続] が表示されます。ただし、ドライブレコーダーを一度も接続していない場合は、項目自体が表示されません。

ステアリングリモコン設定を行う

本機に、別売のステアリングリモコンアダプターまたはステアリングリモコンケーブルを接続する場合は、ステアリングリモコン設定を行ってください。正しく設定を行わないと動作しません。

1 田を押して HOME 画面を表示する



2 AV・本体設定 - 田 - 車両情報設定の順にタッチする



3 ステアリングリモコン設定にタッチする



4 設定したい項目にタッチする



学習： 各ボタンに自分で機能を選んで割り当てることができます。

車両メーカー名： お乗りの車のメーカーに合わせて、あらかじめ用意された機能が割り当てられます。

アダプター： ステアリングリモコンアダプターを接続している場合に選択します。

5 設定が終了したら、田にタッチする

メモ

- **学習** にタッチした場合は、お好みの機能をステアリングリモコンに割り当てることができます。詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。

バックカメラ設定を行う

本機にバックカメラを接続した場合は、バックカメラ設定を行ってください。

1 田を押して HOME 画面を表示する



2 AV・本体設定 - 田 - バックカメラ設定の順にタッチする



3 バックカメラ入力にタッチして「ON」に設定する



4 バック信号極性にタッチしてカメラの極性を選択する



LOW： 接続状態画面 (※「接続状態と GPS の受信状態を確認する」) で、シフトレバーをバックに切り換えたときに「バック信号」の表示が [LOW] になる車両の場合はこちらを選びます。

HIGH： 接続状態画面 (※「接続状態と GPS の受信状態を確認する」) で、シフトレバーをバックに切り換えたときに「バック信号」の表示が [HIGH] になる車両の場合はこちらを選びます。

5 設定が終了したら、田にタッチする

接続・取り付けが終わったら

つづき

AUX 設定を行う

本機に VTR などの外部映像機器を接続した場合は、AUX 設定を行ってください。

1 設定メニューを押して HOME 画面を表示する



2 AV・本体設定メニューの順にタッチする



3 AUX 設定メニューの順にタッチする



4 設定が終了したら、完了ボタンにタッチする

ドライブレコーダー設定を行う

本機にドライブレコーダーユニット「ND-DVR1」を接続した場合は、本機の設定を行ってください。

1 設定メニューを押して HOME 画面を表示する



2 AV・本体設定メニューの順にタッチする



3 AUX 設定メニューの順にタッチする



4 設定が終了したら、完了ボタンにタッチする

センサー学習のエラーメッセージ

つづき

接続確認と各種設定を完了し、走行を開始すると本機は自動的に 3D ハイブリッドセンサーの初期学習を行います。その際、つぎのようなエラーメッセージが表示されたときは、エラーの原因を取り除いてください。

<走行開始後のエラーメッセージ>

- 【車速信号線が外れました。接続を確認してください。】
- 【車速パルス信号が異常です。接続を確認してください。】
ピンクリード線（車速信号入力）の接続先および接続状態を確認してください。
- 【3Dハイブリッドセンサーが正常に動作しません。本体の取り付け角度を確認してください。取り付け角度が正常な場合は、パイオニア修理受付窓口にご相談ください。】
「ナビゲーション本体の取り付け」を参照して、取付角度が間違っていないか確認してください。取付角度が正しい場合は、内蔵センサーの故障が考えられます。お買上げの販売店またはパイオニア修理受付窓口にご相談ください。
- 【車速パルスが接続されていません。簡易ハイブリッドで動作します。】
ピンクリード線（車速信号入力）を接続してください。接続すると、3D ハイブリッドで初期学習をやり直します。

<その他のエラーメッセージ>

- 【GPS アンテナが接続されていません。接続を確認してください。】
- 【GPSアンテナが正常に動作しません。取り付け状態を確認してください。取り付け確認後、メッセージが表示され続ける場合はパイオニア修理受付窓口にご相談ください。】
GPS アンテナの接続を確認してください。正しく接続されている場合は、断線・故障・劣化等が考えられます。お買上げの販売店またはパイオニア修理受付窓口にご相談ください。
- 【内蔵のセンサーが異常です。パイオニア修理受付窓口またはお買上げの販売店にご相談ください。】
内蔵のセンサーの故障が考えられます。お買上げの販売店またはパイオニア修理受付窓口にご相談ください。

メモ